

第9回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時：R2.3.18(水) 14:30～15:00

場所：審議会室（本館5階）

（進行：厚地危機管理監）

1 開会

2 本部長訓示（蒲島知事）

※別紙「第9回熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長訓示概要」により訓示

3 議事

（1）感染者の発生状況について（上野健康危機管理課長）

資料1により説明

（2）各部の取組みについて

① 緊急対策【第3弾】について（総務部長、健康福祉部長、教育長、 商工観光労働部長、農林水産部長）

資料2により説明

② 国への要望について（企画振興部長）

資料3により説明

③ 医療用マスク等の確保及び配布状況について（健康福祉部長）

資料4により説明

④ 県営住宅入居者の家賃減額措置について（土木部長）

資料5により説明

（3）その他（県内市町村の取組みについて：総務部長）

資料6により説明

【発言】

●知事公室長：

緊急対策の周知広報につきまして、資料はありませんが、説明させていただきます。冒頭知事からも、「制度の周知についてわかりやすくやるように」という訓示がありましたが、既に広報グループでは、県のホームページをはじめ、新聞、テレビスポット、ラジオ、フェイスブック、ツイッター、さらに市町村の広報誌など、あらゆる媒体を活用して積極的に広報しているところですが、各部もそれぞれ媒体を持っていますし、わかりやすい広報ということで、しっかり連携しながら、広報に努めていきたいと思っています。引き続き

き、情報共有と連携をお願いしたいと思います。

●小野副知事：

私からは、お願いなのですが、教育委員会の方から、県立学校の給食の休止についてお話がありました。県の方はこういうことでやっていくのですが、私のところにもいろいろ問い合わせがありまして、基本的に小中学校では、市町村の事業として給食をやっています。これから、それぞれの市町村のご判断で、資料2の11ページのような県のスキームでやっていくことになることも多いかと思います。お願いとして、先ほど総務部長からも資料6の41ページで、「情報共有をして欲しい、共有していく」ということがありましたけれども、ぜひ他の市町村でどういうふうにやっているのかっていう状況を県の教育委員会として把握していただきたいと思います。それから今、民間の方でも、様々な生活困窮とかいろいろな事情があり、どうしても公的なところで子供たちを受入れができないっていう方がいらっしやって、草の根で受入れをしている方がいらっしやいます。そういう方が例えば、「食材を廃棄せざるを得ない場合には、うちの方にもいただきたいのですが」というような声もいただいています。資料2の11ページのスキーム図で、フードバンク等ということで、やむを得ず発注してしまっ行って行き場がない食材があった場合には、そういう民間でも頑張っらっしやる団体にも情報提供することをやっていただきたいですし、政令市以外の、市町村でそういった情報が出てきた場合には、県教育委員会が間に立っって、できる限り無駄がないように、そして、頑張っらっしやる方々にうまくモノが行き渡るよう、情報が行き渡るようにしていただきたいと思います。

●知事：

先ほどもちょっと申し上げたのですが、刻々と状況が変わります。最初は、感染の拡大防止から、次々に経済問題に変わっつつあります。経済問題が今発展してありますけれども、これが収束した後で、また新たな経済対策ということも出てきますので、そういう意味では皆さん、複線的な視線で、対策をやっていただきたいと思っています。そういう意味では、1回で終わらなず、次から次に発生してくるような、そういうふうな対応が必要ではないかなと思います。よろしくお願ひします。